

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

専門家との協働による移住・定住促進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

湖南省

3 地域再生計画の区域

湖南省の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

本市においては、少子高齢化が進展するとともに人口減少が始まっており、社会減を抑制することが課題となっている。転入を増加させ、転出を抑制するためには、市外における本市の認知度を向上させることに加え、市民に地域の魅力を認識してもらい地域への愛着・誇りを持ってもらうことが重要である。

このためには、市内外への魅力の発信を強化する必要があるが、情報発信のターゲットを定めるための転入者・転出者の動向・ニーズに関する客観的なデータが十分ではないことに加え、シティプロモーションの手法についてのノウハウが不足していることが課題である。また、空家の利活用を含む移住・定住を促進するためにも、転入者・転出者の動向・ニーズを的確に把握することが課題となっている。

今後さらに増加が予想される空家対策が課題となっているが、空家バンクに登録された空家と居住希望者の効果的なマッチングを行うためには、不動産取引や地域情報に精通した専門人材を活用することが課題となる。

4-2 地方創生として目指す将来像

転入者・転出者の動向・ニーズを外部の知見を活用した調査によりの確に把握した上で、地域の専門家との協働によるターゲットを明確にしたシティプロモーションや空家の活用を含む移住・定住促進策を進めることにより、社会動態を改善することを目指す。さらに、クラウドファンディングを活用して起業を促進することにより、移住・定住促進につなげる。

また、シティプロモーションの企画立案プロセスやクラウドファンディング

を活用した地域づくり活動に専門家や市民を巻き込むことにより、地域の魅力を再認識してもらい、地域への愛着・誇りを醸成することにより定住促進につなげる。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成30年度 増加分 (1年目)	平成31年度 増加分 (2年目)	平成32年度 増加分 (3年目)	KPI増加分の 累計
人口の社会動態（人）	-174	84	83	107	274
クラウドファンディングを通じた地域活動への参加者数（人）	0	70	70	70	210
空家のマッチング件数（件）	0	1	2	2	5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

本市の課題である人口の社会減の抑制および市民の地域づくりへの参画促進に向けて、転入者・転出者の動向・ニーズを外部の知見を活用した調査により的確に把握した上で、専門家との協働によるシティプロモーションや空家の活用を含む移住・定住促進策を進める。あわせて、シティプロモーションの検討成果を反映したHPのリニューアルを実施することにより、市の情報発信を強化する。

また、シティプロモーションの企画立案プロセスやクラウドファンディングを活用した地域づくり活動に専門家や市民を巻き込むことにより、地域の魅力を再認識してもらい、地域への愛着・誇りを醸成することにより定住促進につなげる。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

湖南省

② 事業の名称：

専門家との協働による移住・定住促進計画

③ 事業の内容

本市の課題である人口の社会減の抑制および市民の地域づくりへの参画促進に向けて、外部の専門家と協働した以下の事業を実施する。

- ・ 地域活性化センターと連携し、シティプロモーションや移住・定住促進策の政策立案のベースとなる転入者・転出者の動向・ニーズを的確に把握するための調査を行う。
- ・ 市外の認知度が低いことや市民の地域へ愛着・誇りが薄い本市の課題を改善するため、外部の専門家の知見を活用することにより、地域人材や市民を巻き込んだシティプロモーション促進およびクラウドファンディングを活用した地域づくり活動や地域における起業支援を実施する。
- ・ シティプロモーションの広報媒体の中心となるHPのリニューアルに向けて、専門業者と連携して、HP訪問者の動向等の分析による効果的なコンテンツの調査を実施する。また、シティプロモーションの検討成果を活かした移住定住広報を実施する。
- ・ 本市の課題である空家対策については、空家バンクを活用したマッチングや空家を活用した移住・定住を効果的に進めるため、空家活用ハブセンター（仮称）を設立し、不動産取引と地域情報に精通したコーディネーターを置くことにより、本市での居住希望者とのマッチングや空家の活用を促進する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

クラウドファンディングについては、当初の2年間は地域の専門家の力を借りて案件の発掘や大衆が寄付したくなるようなストーリーづくりを行うが、3年目以降はノウハウを学んだ職員・地域が自立して事業を実施する。

本事業により立ち上げることとなる空家活用ハブセンター（仮称）は、立上げ期には行政による支援が必要であるが、将来的には空家マッチングの手数料収入を得て運営していくことを目指す。

また、シティプロモーションおよびHPリニューアルに向けた分析についてはその成果を31年度に市単費で実施するHPリニューアルに反映し、HPを多くの人に見てもらえるようにすること

で、広告収入の増加を目指す。

【官民協働】

市民の地域づくり活動への参画や地域における起業支援については、専門家の力を借りて地域のニーズの掘り起こしを行い、市と地域・市民が協働してクラウドファンディングを創り上げることで民間から広く資金を募集することとしている。また、シティプロモーションの検討プロセスでは、魅力発信プロジェクト（仮称）に市民を巻き込んだ活動を行うことにより、市民との協働により地方生活の魅力を発信する。

空家活用ハブセンター（仮称）は商工会に設置されるため、会員企業、不動産業者、地域、市が一体となり、コーディネーターを中心として空家対策や移住・定住促進に取り組むことが可能である。

【政策間連携】

転入者・転出者の動向・ニーズの調査は、シティプロモーションや移住・定住施策の立案に有効であるだけでなく、福祉・子育て・まちづくり・観光等のさまざまな分野における客観的なデータに基づく政策立案に役立つこととなる。

湖南省は、湖南工業団地を中心とした製造業のまちであり、第2次産業の比率が高い特徴があり、29年9月には「成長ものづくり分野」、「農林水産分野」を対象として地域未来投資促進法にかかる基本計画の同意を受けている。現在、市内企業は人材確保に苦労している状況にあり、成長ものづくり分野や農林水産分野を中心とした仕事と連携する形で移住定住を促進することが企業の労働力の確保、ひいては経済の活力の維持につながる事となる。

本事業による空家事業は、移住定住促進につながるだけでなく、空家活用ハブセンター（仮称）による空家の活用、空家の適正管理、空家発生未然防止により、住みよい住環境の維持・犯罪防止等の地域課題の解決につながる。

【地域間連携】

空家バンクについては、全国版空き家バンクに登録することで、より広域に情報発信できるため、マッチング成立件数の増加につながる事となる。

シティプロモーションの成果としての市の魅力発信については、県と連携して、東京にオープンした県の拠点施設「ここ滋賀」を活用して市の魅力のPRを行う。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成30年度 増加分 (1年目)	平成31年度 増加分 (2年目)	平成32年度 増加分 (3年目)	KPI増加分の 累計
人口の社会動態（人）	-174	84	83	107	274
クラウドファンディングを通じた地域活動への参加者数（人）	0	70	70	70	210
空家のマッチング件数（件）	0	1	2	2	5

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を地域創生推進課において数字を取りまとめ「湖南省戦略茶話会」において数値目標を基に事業の効果を検証する。また、9月議会の決算常任委員会において報告し、必要に応じて事業運営に反映させていく。

【外部組織の参画者】

産・学・官・金・労・言のメンバーで構成される「湖南省戦略茶話会」において検証する。

(メンバー予定) 湖南省工業会・湖南省商工会・学識経験者(滋賀大学)・金融機関(滋賀銀行)・労働団体(労働福祉協議会)・メディア(びわ湖放送)・市内農業者・市内事業者・地域おこし協力隊員

【検証結果の公表の方法】

湖南省ホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 15,234千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) HPリニューアル事業

事業概要：平成16年の合併当時から使用している現在の市のHPをリニューアルし、市の情報発信を強化する。

実施主体：湖南省

補助制度：市単独事業

事業期間：平成31年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（3ヵ年度）

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を地域創生推進課において数字を取りまとめ「湖南省戦略茶話会」において数値目標を基に事業の効果を検証する。また、9月議会の決算常任委員会において報告し、必要に応じて事業運営に反映させていく。

【外部組織の参画者】

産・学・官・金・労・言のメンバーで構成される「湖南省戦略茶話会」において検証する。

(メンバー予定) 湖南省工業会・湖南省商工会・学識経験者(滋賀大学)・金融機関(滋賀銀行)・労働団体(労働福祉協議会)・メディア(びわ湖放送)・市内農業者・市内事業者・地域おこし協力隊員

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成30年度 増加分 (1年目)	平成31年度 増加分 (2年目)	平成32年度 増加分 (3年目)	KPI増加分の 累計
人口の社会動態(人)	-174	84	83	107	274
クラウドファンディングを通じた地域活動への参加者数(人)	0	70	70	70	210
空家のマッチング件数(件)	0	1	2	2	5

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

湖南省ホームページで公表する。